

総務建設常任委員会協議会 説明資料

令和7年1月29日

公共下水道事業について

資 料

下水道の役割	1
全体計画及び下水道法に基づく事業計画（雨水）について	1
下水道による浸水対策	1
内水浸水想定区域図の作成	1
雨水管の整備状況及び整備計画について	2

下水道課

公共下水道事業について

下水道の役割

下水道事業は、「公共用水域の水質保全」、「公衆衛生の向上」、「浸水防除」を大きな目的として事業を実施しています。



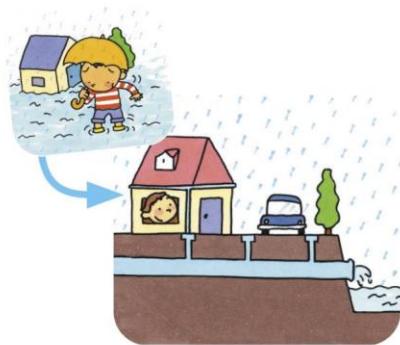
川や海をきれいに！

汚水を適切に処理することで、河川、海域等の水質を保全。



まちが清潔に！

市街地に汚水が滞留しないよう、汚水を排除し、公衆衛生を確保。



浸水を防ぐ！

市街地に降った雨の排除により、浸水被害を防除。

出典：東浦町HPより

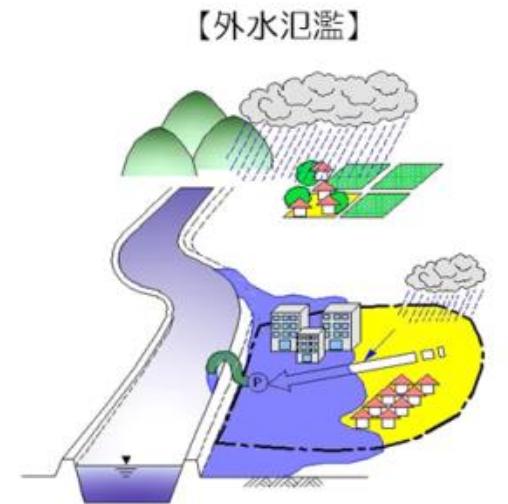
下水道による浸水対策

○浸水対策における下水道の役割

市街地の浸水には、市街地に降った雨が河川等に排水できずに発生する「内水氾濫」と、河川から溢れて発生する「外水氾濫」があります。下水道は、市街地に降った「内水」の排除という役割を担っており、河川に放流するための管渠やポンプ等の整備を実施します。



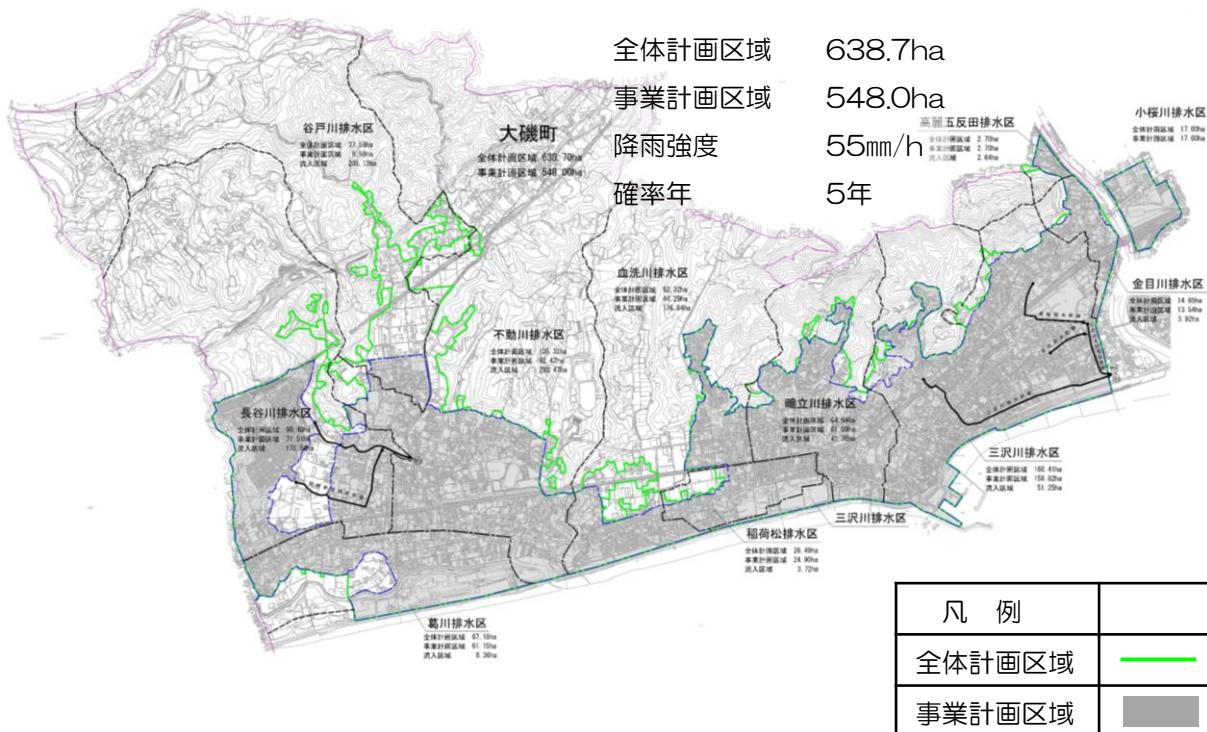
【内水氾濫】



【外水氾濫】

出典：国土交通省HPより

全体計画 及び 下水道法に基づく事業計画（雨水）について



内水浸水想定区域図の作成

○内水浸水想定区域図とは

大雨の時に、下水道管や水路など雨水を排除する施設から河川等へ排水できず、雨水が施設からあふれ出た場合に想定される、『浸水範囲』や『浸水する深さ』の情報をまとめた地図です。

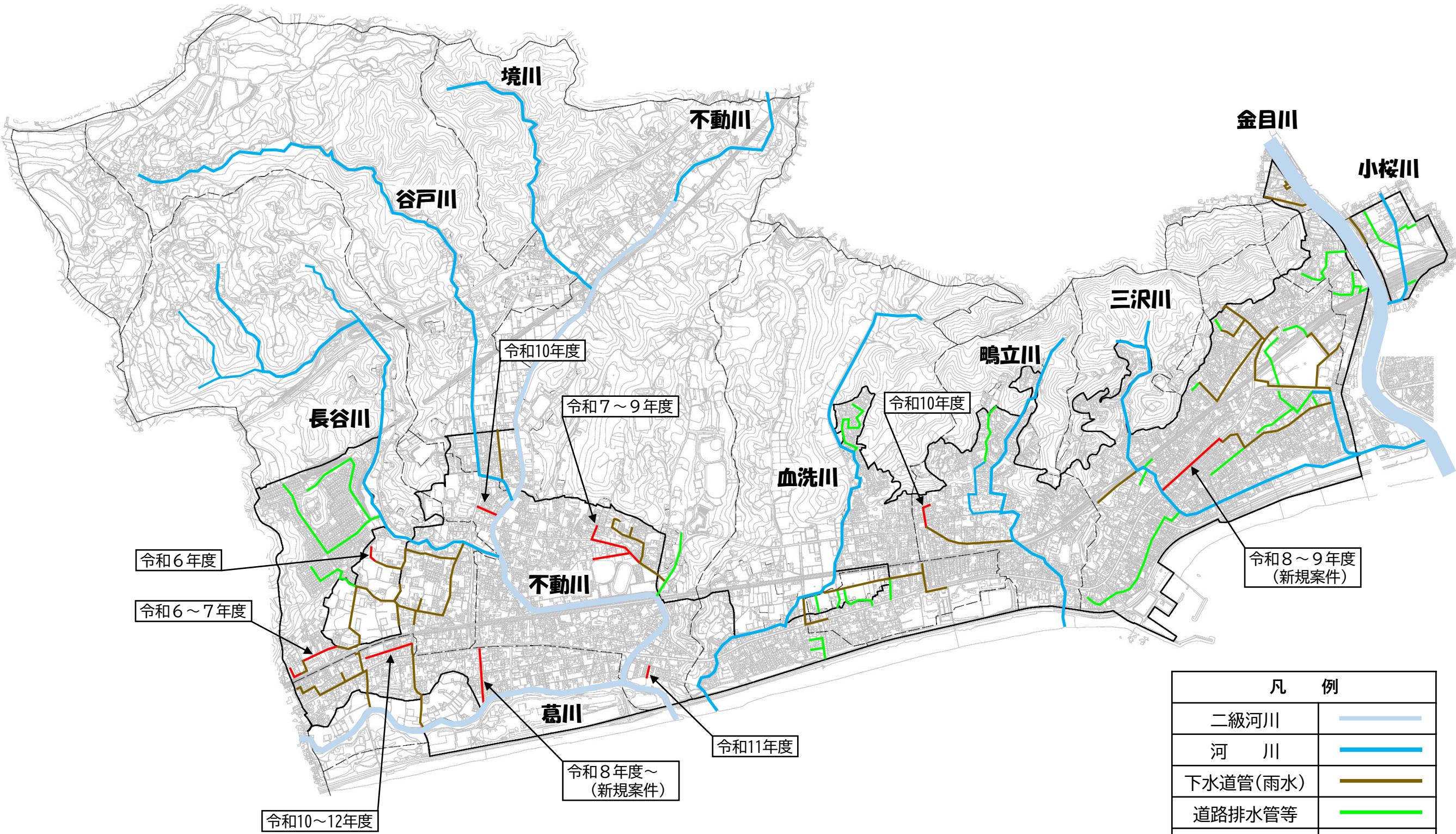
近年、雨水排水施設の能力を上回るような大雨が全国的に増加しており、雨水排水施設の能力を超える大雨に対して、町民の皆様の日頃からの浸水被害に対する備えや意識を持っていただき、浸水に対する避難行動や、日ごろの防災意識の向上に活用していく予定です。

関係法令：水防法第14条の2第2項

○作成方法と作成条件

地形の状況、雨水排水施設、放流先の河川などの情報をもとに浸水の状況をシミュレーションで再現し、図化します。国土交通省が作成した想定最大規模降雨の設定手法に基づき、1時間に153mmの雨が町内に降った場合を想定して作成する予定です。

雨水管の整備状況及び整備計画について



凡 例	
二級河川	
河 川	
下水道管(雨水)	
道路排水管等	
計画路線	

※道路排水管は下水道管（雨水）に移管予定の施設を表示